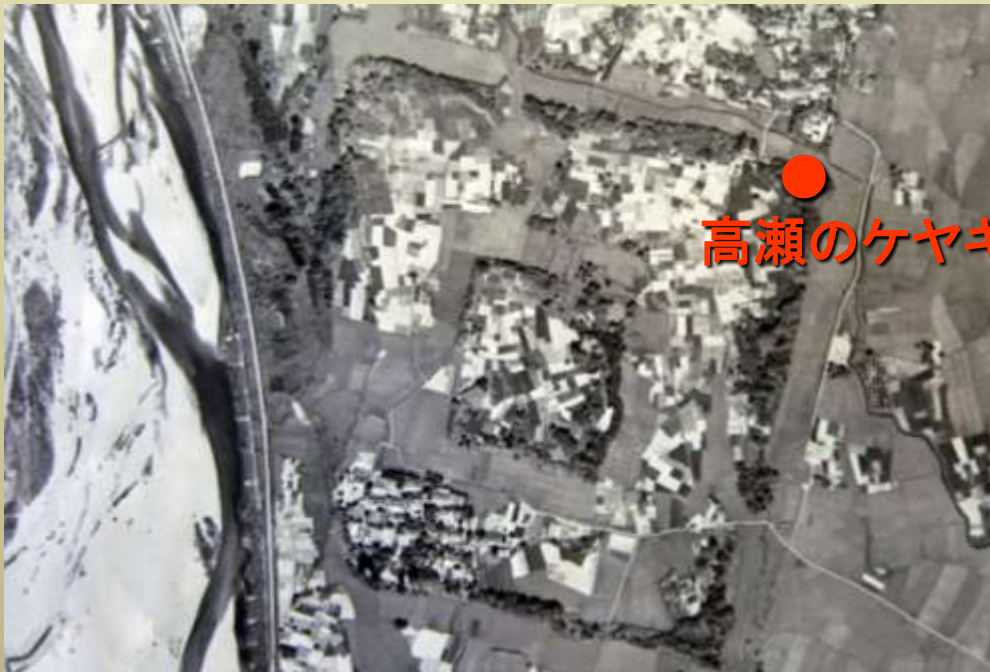


# 直江兼続が総指揮した**神指城**

## 会津若松市神指町本丸



高瀬のケヤキ

昭和42年の圃場整備以前  
(39年より前)航空写真

神指城跡は、昭和42年のほ場整備以前の地形図から計測すると二ノ丸の堀跡を含めると、約南北750m、東西約710メートルあります。面積は堀跡を含め約55ヘクタール。若松城跡の約2倍の面積があります。

北東の鬼門に位置する樹齢約600年の「ケヤキ」(国指定天然記念物)を基点に、直江兼続は北斗七星・北極星を基準に測量をして町割までしました。

「塔寺八幡宮長帳」によると、神指地区(現在の神指町の区域)の13村を強制撤去し、領内から12万人を動員して、家臣の割普請によって工事をしました。慶長5年(1600)3月18日から工事を開始し、6月10日に中止します。

文責・写真 石田明夫



「神指原古城之図」  
1800年以前の図 個人蔵